

「避難訓練と消火訓練」

11月12日(火)市消防署職員の方に来ていただき、火災を想定した避難訓練と消火訓練を行いました。例年、理科室や家庭科室等授業で火を扱う箇所からの出火を想定していましたが、職員から「出火するのは、理科室・家庭科室とは限らない。」との意見があり、今回は、図書室からの出火を想定して訓練をしました。『いつもとはちがう』ことは、人を考えさせます。「どうすれば火に近づかないようにして避難できるか。」事前指導で担任の先生と児童と一緒に考えていました。

職員室では実際に「119」番に電話をし、火災の起きた場所、状況、けが人の有無などの報告をしました。(もちろん事前に訓練することはお知らせ済みです。)ハンカチで口を押さえ、避難放送から約3分で全児童の避難を完了しました。その後、水を充填した消火器を使って、職員と児童の代表が消火訓練をしました。中身が水といえども、実物を使った経験は大切です。(あってほしくないですが、)火災のときに活かされると考えます。

昨年、南アルプス市では17件の火災があったそうです。火事を起こさないこと、命を守る行動がとれることを考えさせたいと思います。

